

Coffee Market Report



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

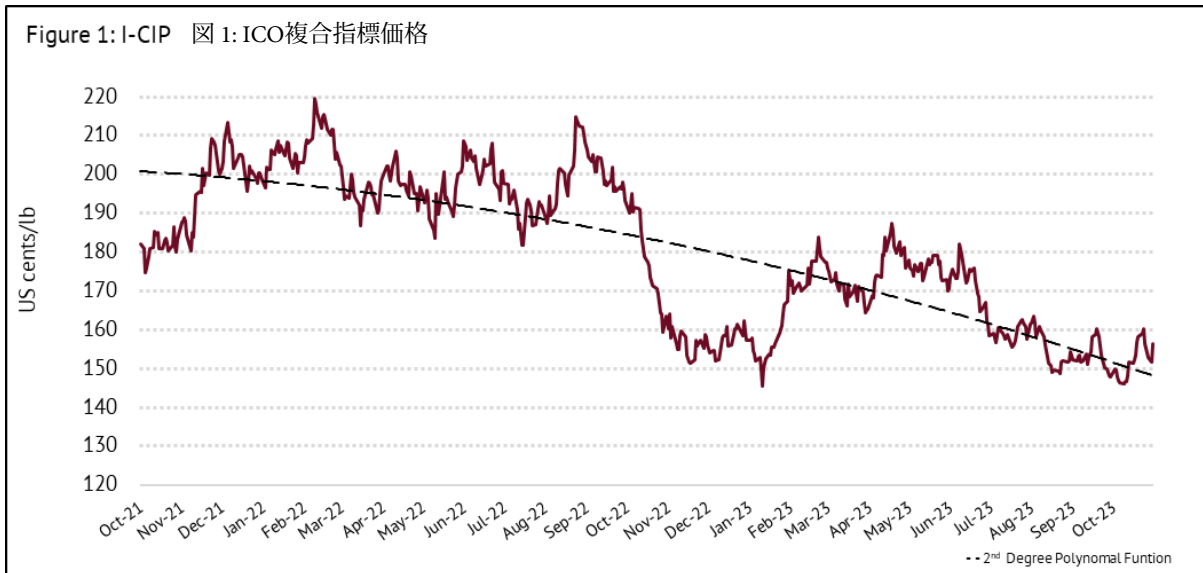
October 2023

ICO複合指標価格のボラティリティは安定的に推移し、アラビカとロブスタのアービトラージは依然として低い

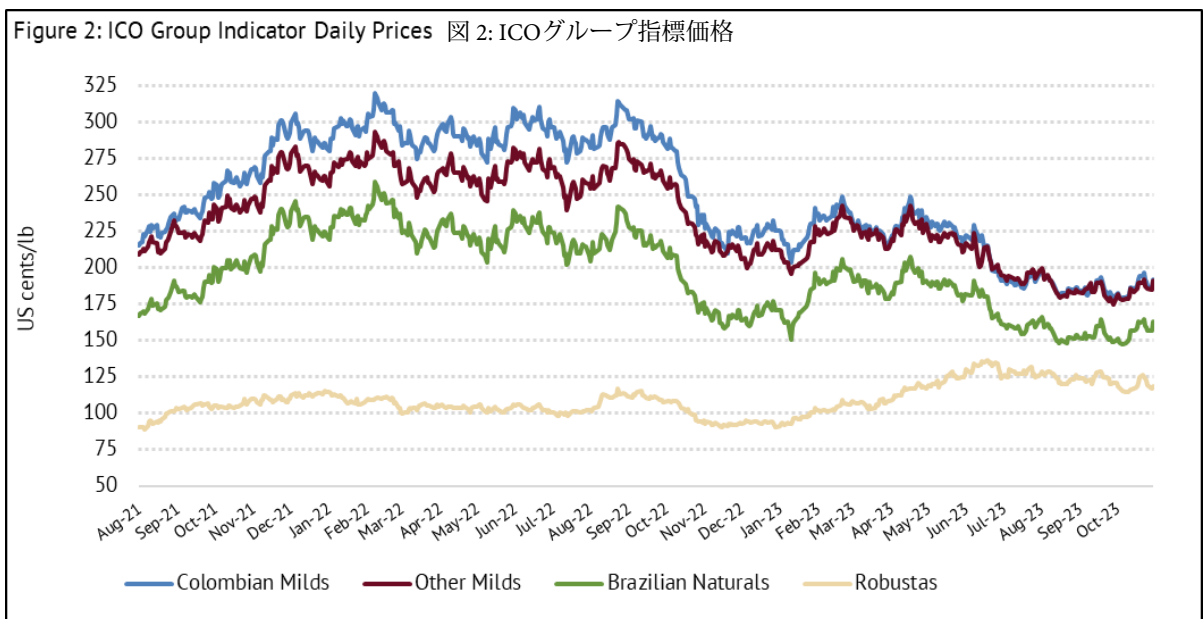
- 10月のICO複合指標価格（I-CIP）は平均151.94セント（米セント/ポンド）で、2023年9月から0.8%下落した。I-CIPの中央値は151.58セントで、価格レンジは145.99～160.09セントだった。
- コロンビामイルドとアザーマイルドの価格差は38.5%拡大して2.02セントだった。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された10月のアービトラージは13.7%拡大して50.51セントだった。
- I-CIPの10月のボラティリティは9月と同水準の6.3%で安定して推移した。
- ニューヨークとロンドンの認証在庫は双方ともに下落方向に推移した。
- 2022/23コーヒー年度の世界の生豆輸出量は、2021/22年度の1億1,728万袋から5.5%減の1億1,081万袋となった。
- アザーマイルドの2022/23コーヒー年度の輸出量は2022/21年度の2,516万袋から2,211万袋へ12.1%減少した。
- コロンビामイルドの輸出量は2021/22コーヒー年度の1,214万袋に対して2022/23年度は1,077万袋へ11.2%減少した。
- ロブスタの2022/23コーヒー年度の生豆輸出量は2021/22年度の4,266万袋から2.6%増加して4,376万袋だった。
- 南米地域の輸出量は2021/22コーヒー年度の5,683万袋から2022/23年度は5,059万袋へ11.0%減少した。
- アフリカ地域の輸出量は2021/22コーヒー年度の1,373万袋から2022/23年度は1,353万袋へ1.4%減少した。
- メキシコおよび中米地域の輸出量は2021/22コーヒー年度の1,578万袋から2022/23年度は1,530万袋へ3.1%減少した。
- アジアおよびオセアニア地域の輸出量は2021/22コーヒー年度の4,395万袋から2022/23年度は4,356万袋へ0.9%減少した。
- ソリュブルコーヒーの輸出量は、2021/22コーヒー年度の1,216万袋から2022/23年度は1,147万袋へ5.7%減少した。2022/23コーヒー年度のコーヒー総輸出量に占めるソリュブルコーヒーのシェアは2021/22年度と同じ9.3%だった。
- 焙煎コーヒーの輸出量は2021/22コーヒー年度の84万袋から2022/23年度は16.0%減少し71万袋だった。
- 2021/22コーヒー年度の世界のコーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。しかしながら、2022/23年には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界のコーヒー消費量は2021/22コーヒー年度は4.2%増の1億7,560万袋だった。2022/23コーヒー年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、現在の状況では、世界のコーヒー市場は2年連続の供給不足と予想され、2022/23コーヒー年度は730万袋の不足が見込まれる。

グリーンコーヒー価格

10月のICO複合指標価格（I-CIP）は平均151.94セント（米セント/ポンド）で、9月から0.8%下落した。I-CIP の中央値は 151.58セントで、価格レンジは145.99～ 160.09セントだった。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの10月の価格は、9月に対してそれぞれ0.5%と0.2%上昇して185.97セントと183.95セントだった。ブラジルナチュラルは155.52セントで0.9%の最も高い上昇を示した。一方、ロブスタは4.1%下落し118.83セントだった。ニューヨーク先物市場は1.5%の上昇、ロンドン先物市場は3.4%の下落で、それぞれ155.91セントと105.40セントだった。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの10月の価格差は9月に対して38.5%拡大して2.02セントだった。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は1.1%縮小して30.45セント、コロンビアマイルドとロブスタの価格差は9.9%拡大して67.14セントだった。

一方、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は3.1%縮小して28.43セントだった。アザーマイルドとロブスタの価格差、ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は、それぞれ9.2%と21.1%拡大して65.12セントと36.69セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

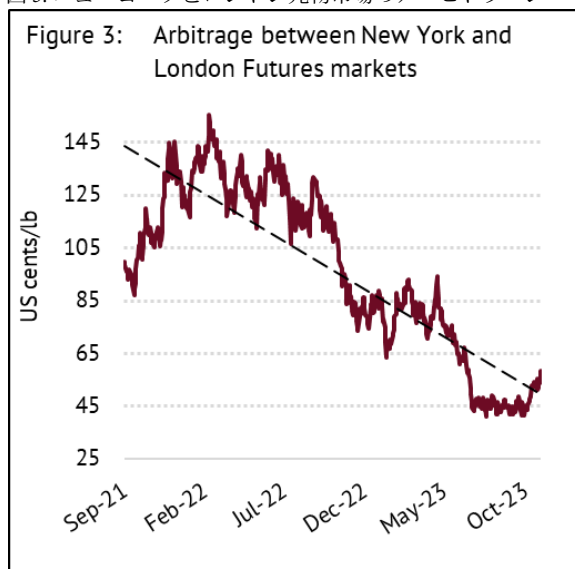
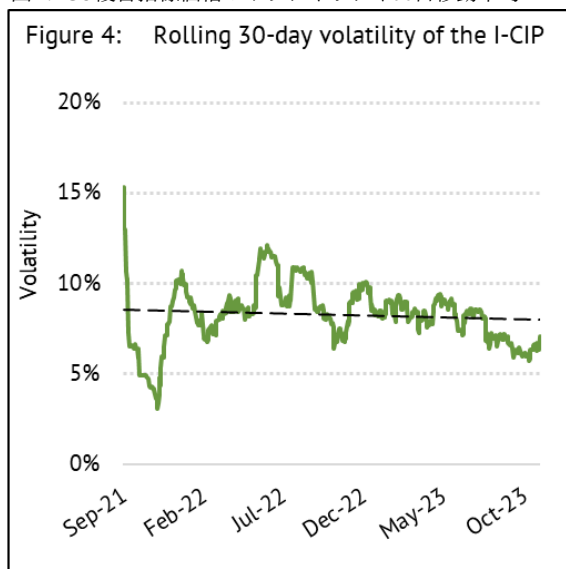


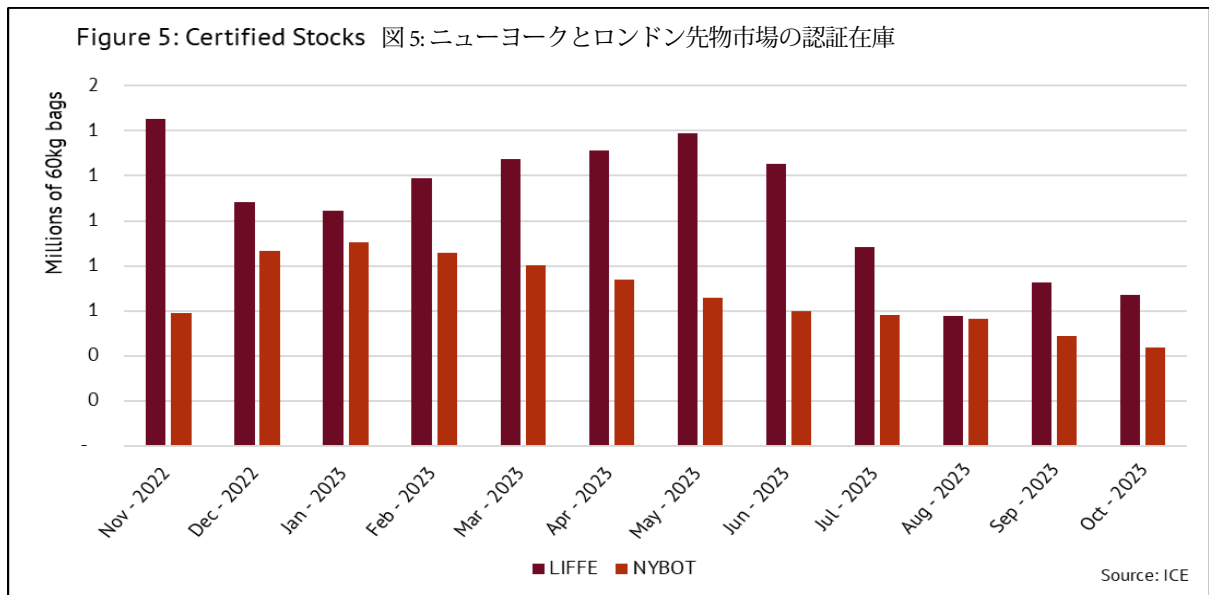
図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された10月のアービトラージは13.7%拡大して50.51セントだった。

ICO複合指標価格の10月のボラティリティは9月と同水準の6.3%で安定して推移した。コロンビアマイルドとアザーマイルドのボラティリティは共に上昇して6.8%と7.6%だった。また、ブラジルナチュラルは0.5%ポイント上昇して8.6%だった。ロブスタは0.1%ポイント上昇して7.5%で、ボラティリティの上昇幅が最も小さかった。

ロンドン先物市場のボラティリティは0.6ポイント低下し6.7%、ニューヨーク先物市場のボラティリティはロンドンとは逆方向に動き、0.4ポイント拡大して8.1%だった。



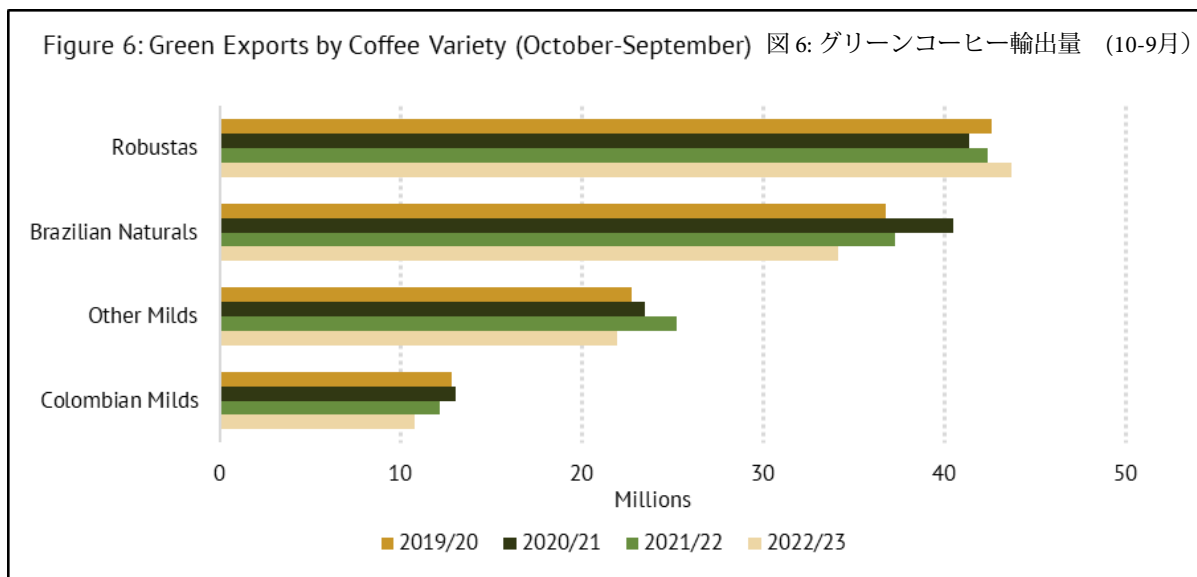
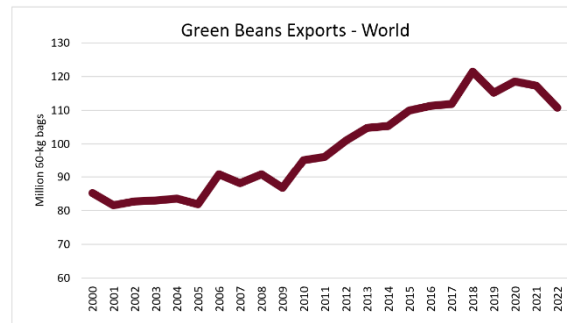
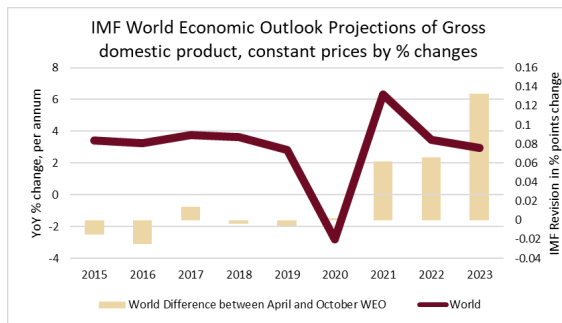
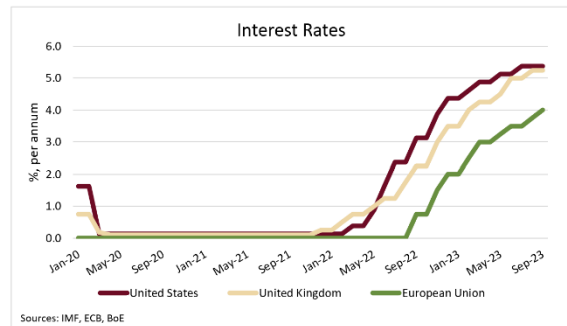
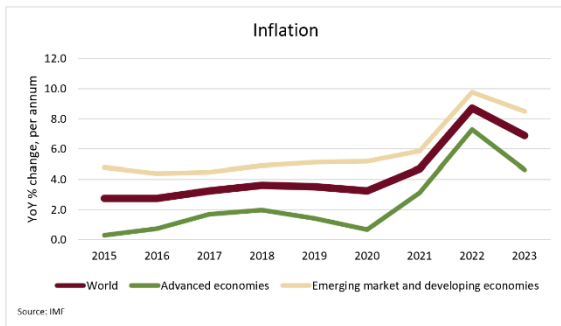
ニューヨークとロンドンの認証在庫水準は共に減少した。ロンドンロブスタは7.9%減の67万袋、また、ニューヨークアラビカは10.7%減の44万袋で、2022年10月以降で最低水準だった。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

2023年9月の世界の生豆輸出量は780万袋で、前年同月の883万袋と比べて11.6%減少した。2022/23コーヒー年度通期の生豆輸出量は、2021/22年度の1億1,728万袋から5.5%減の1億1,081万袋だった。2022/23コーヒー年度における世界のマクロ経済環境は、消費者信頼感を改善するものではなかった。主要先進国の多くでインフレと金利が高止まりし、物価高騰による生活費が上昇し、その結果、極めて多くの人々の可処分所得が減少した。こうした状況はコーヒー消費の低迷と、結果として生豆輸出の世界的な減少を招いていると推定された。にもかかわらず、国際通貨基金（IMF）によれば、世界経済は2023暦年では拡大すると予測されているだけでなく、2023年4月から10月までの見通しも引き上げられるなど、世界経済見通しは異なる状況にあることを示唆している。

したがって、2022/23コーヒー年度の世界的な生豆輸出量の減少は、経済動向やコーヒーの実際の消費よりもむしろ物流/サプライチェーンに原因がある可能性が高い。

2018/19コーヒー年度から2021/22コーヒー年度までの平均生豆輸出量は1億1,813万袋であり、これは2014/15年度から2017/18年度までの平均生豆輸出量1億959万袋に対して854万袋増加している。非生産国での積み上がっていた在庫が、過去12か月間で大幅に取り崩された可能性があることを示している。



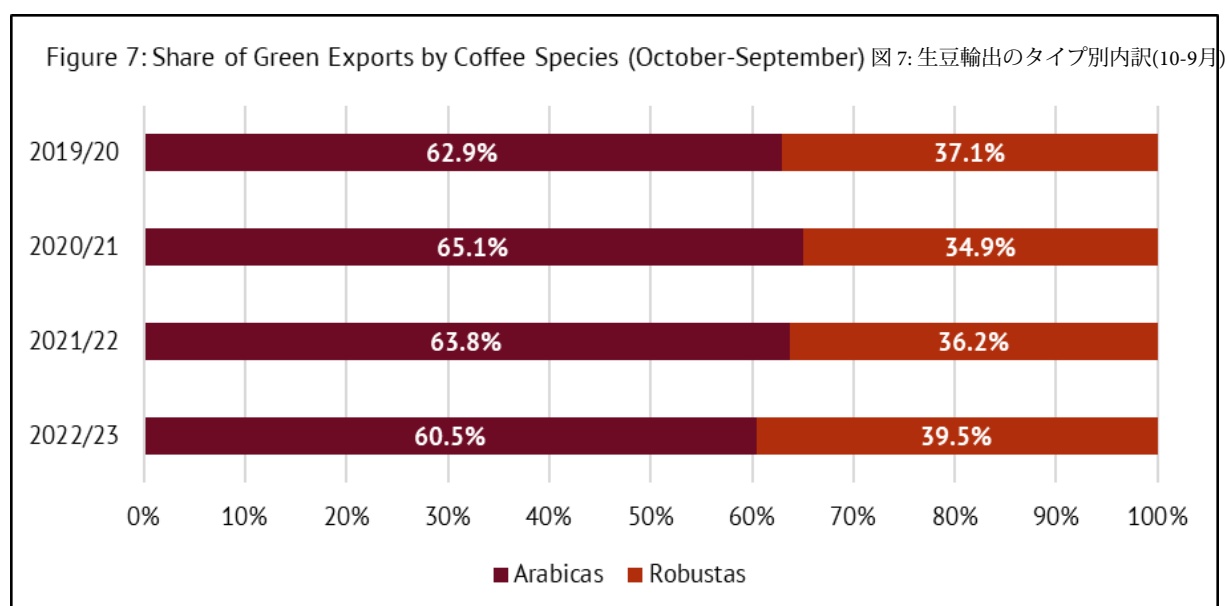
アザーマイルドの2023年9月の輸出量は前年同時期の180万袋から13.1%減少して157万袋、2022/23コーヒー年度の輸出量は前年度の2,516万袋から12.1%減少して2,211万袋だった。ブラジルナチュラルの9月の生豆輸出量は13.4%減少して269万袋、2022/23年度は前年度の3,733万袋から8.5%減少して3,417万袋だった。コロンビアマイルドの輸出量は2022年9月の82万袋から2023年9月は87万袋へ6.7%増加した。2022/23コーヒー年度のブラジルナチュラルの輸出量は、前年度の1,214万袋から11.2%減少して1,077万袋だった。2022/23コーヒー年度のアラビカ生豆輸出の総量は、2021/22コーヒー年度の7,463万袋から10.1%減少し6,705万袋だった。

全体として、2022/23コーヒー年度のアラビカは、買い手が市場から遠ざかり、さらに消費国での在庫取り崩しにより輸出量はマイナスの影響を受けたと思われる。また、物価高騰による生活費の上昇と可処分所得の減少によって、より価格競争力のあるロブスタへの代替も引き起こされたことが、アラビカ輸出量の低迷に拍車をかけた（「グリーンコーヒー価格」の項を参照）。

コロンビアマイルドの輸出量は、2012/13コーヒー年度以降で初めて1,100万袋を下回った。輸出量の減少の主因は、主たる生産国であるコロンビアによるものであり、同国生産地域における天候不順が2022/23コーヒー年度を通じて供給量に悪影響を及ぼした。実際、コロンビアの生豆輸出量は2022/23コーヒー年度の最初の11か月間減少して2023年9月だけが拡大を示している。統計によると、コロンビアの輸出量は13.1%減の942万袋であり、1,000万袋を下回ったのは2013/14コーヒー年度以降で初めてである。

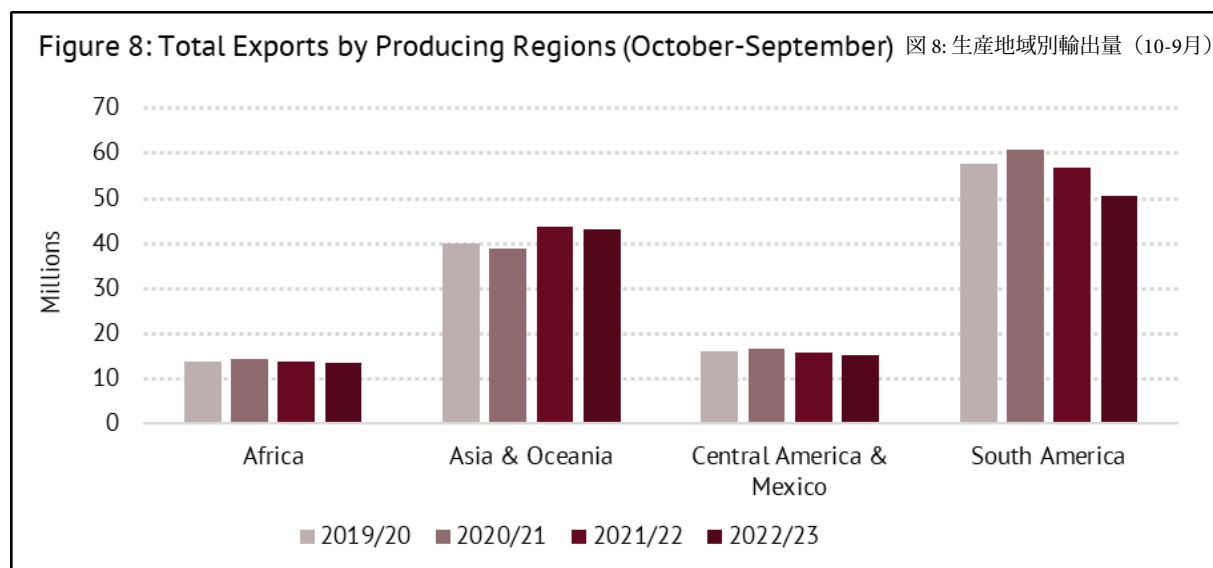
ロブスタの生豆輸出量は、2022年9月の309万袋から2023年9月は267万袋となり、13.8%減少した。2022/23コーヒー年度では、前年度の4,266万袋から2.6%増加して4,376万袋だった。4つのコーヒーグループのうち、ロブスタは2022/23コーヒー年度に輸出量が増加した唯一のグループであり、マクロ経済動向を誘因とする価格競争力の低いアラビカからの代替効果の恩恵を享受した。

2023年9月のロブスタの輸出量は、9月の輸出量としては2012年の258万袋以降で最低だった。同グループの世界最大の生産国かつ輸出国であるベトナムの輸出量が43.4%減少したことによるもので、同グループの輸出量は僅か81万袋に止まり、これは2008年9月（79万袋）以降で最低水準だった。ベトナムは2022/23コーヒー年度第4四半期初めから供給不足を生じており、収穫開始がまだ3~4カ月先のこの時期に国内の在庫レベルが非常に低いことが報告されている。2023年9月の輸出水準の低さは、同国のコーヒー業界にとって供給上の問題が深刻化していることを示している。



地域別の輸出量 - 全形態のコーヒー

南米の2023年9月の輸出量は3.4%減の474万袋だった。2022/23コーヒー年度は、2021/22年度の5,683万袋から11.0%減の5,059万袋だった。この地域の2大生産国かつ輸出国であるブラジルとコロンビアの輸出量はそれぞれ7.9%と12.8%減少した。南米の輸出動向はアラビカと密接に関連しており、コロンビア輸出量の2桁の減少率の要因の多くがブラジルの減少にも同様に当てはまる。結局のところ、2018/19コーヒー年度から2022/23年度において南米からの生豆輸出量の93.2%がアラビカだった。消費国における在庫の減少およびロブスタへの代替が主たる2つの要因である。個別の要因として追加すべきは次の2つで、(i) ブラジルは2年連続しての収穫量が平年以下であったことから供給量が相対的に限定され輸出実績が低迷したこと、および (ii) コロンビアは生産地域の天候不順から供給の影響を受けて輸出量が減少したことがある。



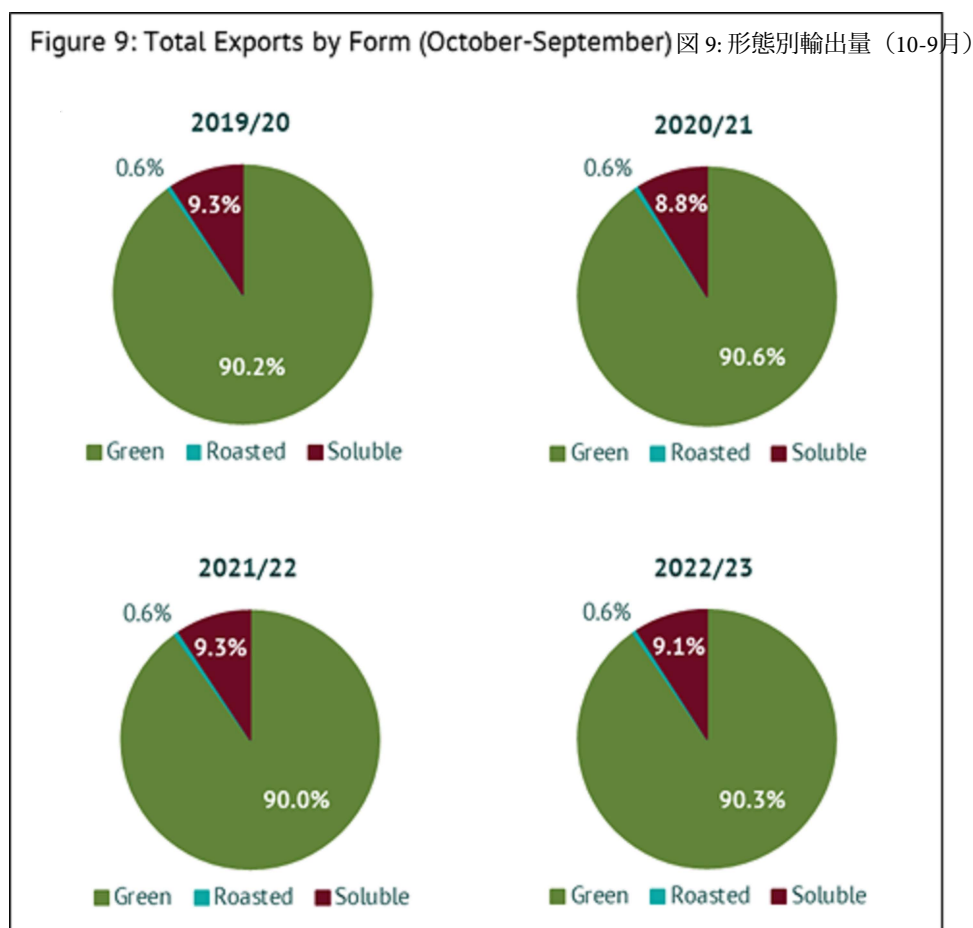
アフリカ地域のコーヒー輸出量は、2022年9月の123万袋に対して2023年9月には121万袋へと1.9%減少、2022/23コーヒー年度では、2021/22年度の1,373万袋から1353万袋へと1.4%減少した。ロブスタに対する世界的な需要が、2022/23年度のアフリカの輸出量を下支えした。また、2022/23年度の第4四半期では、アジア・オセアニア地域、特にベトナムからの輸出量が減少したことからアフリカの輸出量は伸長している。アフリカ地域最大のロブスタ生産国かつ輸出国であるウガンダは、ベトナムそしてアジア・オセアニア地域から生じたロブスタの需給ギャップを埋める機会を捉えた。

メキシコおよび中米地域の2023年9月の輸出量は、2022年9月の81万袋と比較して9.2%減の74万袋、2022/23コーヒー年度では、2021/22年度の1,578万袋から3.1%減の1,530万袋だった。低迷の主因はグアテマラとメキシコで、両国の輸出量はそれぞれ11.5%減と16.5%減となった。しかし、この地域の輸出の落ち込みを一桁台前半に止めた要因としてホンジュラスの13.5%増加がある。

アジアおよびオセアニア地域の輸出量は、2022年9月の298万袋に対して2023年9月は35.7%減の191万袋、2022/23コーヒー年度では、2021/22年度の4,395万袋から0.9%減の4,356万袋だった。アジアおよびオセアニア地域の輸出動向は、ロブスタと密接に関連しており、2022/23コーヒー年度の一桁台の減少率と同じ要因が、2023年9月の大幅な減少率にも共通している。2018/19コーヒー年度から2022/23年度まで、アジアおよびオセアニア地域の生豆輸出量のうち89.1%はロブスタである。2022/23コーヒー年度のベトナムの輸出量は2,829万袋で2021/22年度の2,819万袋に対して0.4%増加している。

形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの2023年9月の輸出量は、2022年9月の103万袋から27.3%減少して75万袋、2022/23コーヒー年度のソリュブルコーヒー輸出量は、2021/22年度の1,216万袋から5.7%減の1,147万袋だった。



全形態のコーヒー輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023年9月時点で8.7%で前年同時期の10.4%から低下した。2022/23コーヒー年度通期でのソリュブルコーヒーのシェアは、2021/22年度と同じ9.3%だった。ブラジルはソリュブルコーヒー最大の輸出国で、2023年9月の輸出量は27万袋、2022/23コーヒー年度では377万袋だった。

焙煎豆の2023年9月の輸出量は、2022年9月の7万5,355袋に対して26.7%減の5万5,203袋
2022/23コーヒー年度では、2021/22年度の84万袋から16.0%減の71万袋だった。

生産量と消費量

現状、2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量の推定値および見通し
に変更は無い。

2021/22コーヒー年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏
年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23
年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇
と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想
定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。
アラビカの2022/23コーヒー年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加して9,860
万袋と予想され、表年の隔年結果の好影響が見込まれる。生産量の循環的な変動を反映し
て、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23
年度は57.5%に増加すると予想される。南米地域の生産量は2021/22コーヒー年度に7.6%
減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大
のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23コーヒー年度は隔年結果の影響もあり
回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%
増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、
2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費
量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上
昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込
まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的
なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー
消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22コーヒー年度の6.0%増から
2022/23コーヒー年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は
730万袋の不足が見込まれている。

(後略)

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
Jul-23	158.88	190.58	193.49	159.50	127.58	159.57	113.62
Aug-23	154.53	187.55	186.73	154.66	124.62	156.56	111.34
Sep-23	153.13	184.98	183.52	154.19	123.89	153.55	109.14
Oct-23	151.94	185.97	183.95	155.52	118.83	155.91	105.40
% change between Sep-23 and Oct-23							
	-0.8%	0.5%	0.2%	0.9%	-4.1%	1.5%	-3.4%
Volatility (%)							
Sep-23	6.3%	6.5%	6.8%	8.1%	7.4%	7.7%	7.3%
Oct-23	6.3%	6.8%	7.6%	8.6%	7.5%	8.1%	6.7%
Variation between Sep-23 and Oct-23							
	0.0	0.3	0.8	0.5	0.1	0.4	-0.6

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
Jul-23	-2.91	31.09	63.00	34.00	65.91	31.92	45.95
Aug-23	0.82	32.89	62.93	32.07	62.11	30.04	45.23
Sep-23	1.46	30.79	61.09	29.33	59.63	30.30	44.41
Oct-23	2.02	30.45	67.14	28.43	65.12	36.69	50.51
% change between Sep-23 and Oct-23							
	38.5%	-1.1%	9.9%	-3.1%	9.2%	21.1%	13.7%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
PRODUCTION	167,568	169,884	168,387	170,868	168,485	171,268	1.7%
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
CONSUMPTION	165,637	170,876	167,593	168,569	175,605	178,534	1.7%
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
BALANCE	1,932	-992	794	2,298	-7,120	-7,266	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出货量

	Sep-22	Sep-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
TOTAL	9,936	8,608	-13.4%	130,287	122,988	-5.6%
Arabicas	6,353	5,592	-12.0%	81,402	73,658	-9.5%
Colombian Milds	925	971	4.9%	13,317	11,850	-11.0%
Other Milds	2,097	1,739	-17.1%	27,921	24,894	-10.8%
Brazilian Naturals	3,331	2,883	-13.5%	40,164	36,914	-8.1%
Robustas	3,583	3,016	-15.8%	48,885	49,329	0.9%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23	Jul-23	Aug-23	Sep-23	Oct-23
New York	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74	0.66	0.60	0.58	0.57	0.49	0.44
London	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31	1.39	1.25	0.89	0.58	0.73	0.67

In million 60-kg bags